

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
上記基準日 毎年3月31日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載 URL (https://www.sunwa.co.jp/ir_info/index.html)

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主の皆さまの声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにて
ご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 8137539D



ご回答いただいた方の中から抽選で
薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、
株式会社プロネクサスの提供する
「コエキク」サービスにより実施いたします。
<https://www.pronexus.co.jp/>

アンケートのお問い合わせ
「コエキク事務局」
☒ koekiku@pronexus.co.jp

サンワテクノス株式会社

東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F
TEL.03-5202-4011 FAX.03-5202-4054



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

第76期 中間株主通信

2023年4月1日~2023年9月30日





代表取締役社長

松尾 晶広

事業の付加価値を高め将来を

● 「Sun-Wa Vision 2030」の実現に向け ● 新規ビジネスの挑戦を加速

株主の皆様には、日ごろより格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期は、昨年度の部品供給製造不足によるお客様の先行手配が調整局面を迎え、半導体装置関連の受注も減少するなど厳しいスタートとなりました。また、中国の景気回復の遅れが当社の業績にも影響を及ぼしました。しかしながら、収益力強化対策による営業利益の向上に加えて、昨年度来の受注残が売上として計上され、売上高・各段階利益共に上期として過去最高を更新することができました。

現在当社では、従来から進めている成長市場への展開とあわせて、企業価値の向上につながる戦略的な投資、アライアンス等の取り組みを進めています。第11次中期経営計画「SNS 2024」の重点施策である「顧客セグメント戦略」の frontline に立つ営業のスペシャリストがお客様のニーズを引き出し、2023年4月に設置した「イノベーション本部」の主導で業務提携先と協業して、全社でノウハウを蓄積し、強みに磨きをかけながら新たな付加価値を創造していきます。

また現在、中国から周辺国への生産拠点移管が進むなか、グローバルSCMソリューション事業の強化策の一つとして、インドに現地法人を設立し、9月に業務を開始しまし

期待される企業を目指します

た。可能性を秘めた同国での事業基盤の整備を進めます。こうした諸施策を通して、世界中の技術をつなぎ、お客様の“やりたいこと”を“できる”に変える長期ビジョン「Sun-Wa Vision 2030」を実現します。

● 脱炭素とD&Iの取り組みを強化し ● サステナビリティ経営を推進

一方、「サステナビリティ経営」の推進では、脱炭素を目指す産業界への貢献につながるビジネスとして、エネルギーの使用状況を見える化して管理する「エネルギーマネジメントシステム(EMS)」の拡販体制を整備しました。また、策定した「脱炭素社会へのアプローチ(SDA^{*1})」において、カーボンニュートラルに貢献する、創エネ・蓄エネ・省エネ関連製品を拡販するほか、Scope3^{*2}の環境負荷を定量的に算定できるカーボンフットプリントの管理ツールなどを提案していきます。

D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)の取り組みでは、国内外のリーダー人材を育成する「グローバルネクストリーダー研修」の次のステップとして、当社の企業理念を理解し成長意欲の高いローカルメンバーが各海外現地法人の事業運営に参加し、自律化とグループとしての強固なネットワークの形成を目指します。将来的に、国内外の全拠点でさまざまな国籍の人たちが語り合う、多様性を持つ企業風土を築きたいと思えます。また、女性管理職

比率10%を一つの指標として(現在約8%)、女性営業担当との対話機会を持ち活躍を後押しするとともに、多様化に対応する人事評価制度を整備するなど、さまざまな社員エンゲージメント施策を実行していきます。

※1 SDA : Sunwa Decarbonized society Approach。
※2 Scope3 : 製品の原材料調達から製造・販売・消費・廃棄に至るまでの過程で排出された温室効果ガスの量(サプライチェーン排出量)。

● 株主還元、IR・SR活動の充実

今後も持続的な成長と企業価値向上のための積極的な事業展開と、そのための投資を果敢に実行します。株主還元、資本効率の向上のための自己株式取得を含め、安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行っていきます。2023年度の配当につきましては、1株当たり年間配当金90円としております。また、当社の付加価値や将来に向けた発展性をわかりやすくお伝えするため、投資家の皆様との対話の場を拡充するなど広報・IR活動を強化していきます。そして、営業利益の最大化を通じて高水準のROEを維持し、PBR(株価純資産倍率)1.0倍超の早期実現を目指します。

今後も社員がやりがいを持って新たな取り組みにチャレンジし続けることで、皆様に発展性を感じていただけるサンワグループに成長してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

決算ハイライト / 株主還元

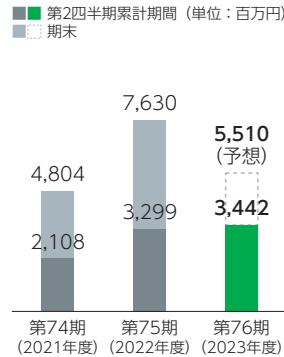
売上高

888億67百万円
前年同期比5.3%増



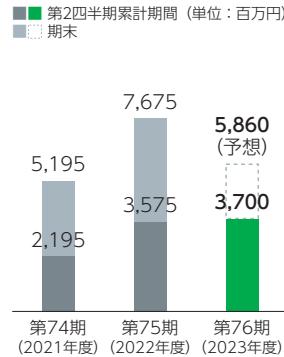
営業利益

34億42百万円
前年同期比4.3%増



経常利益

37億00百万円
前年同期比3.5%増



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

30億75百万円
前年同期比21.7%増



総資産 / 純資産

総資産 1,056億71百万円
前年同期比0.9%減
純資産 461億88百万円
前年同期比3.8%増



1株当たり純資産 / 自己資本比率

1株当たり純資産 3,056円50銭
前年同期比6.4%増
自己資本比率 43.7%
前年同期比2.0ポイント増



通期の見通し

当第2四半期累計期間における業績は、2023年5月8日に公表した業績予想を上回る結果となりましたが、中国の景気減速の影響や、製造業各社の在庫調整が長期化している影響を考慮し、通期業績予想を下記の通り修正いたします。

第76期 通期業績予想

売上高	166,500百万円 (前年同期比 8.0%減)
営業利益	5,510百万円 (前年同期比 27.8%減)
経常利益	5,860百万円 (前年同期比 23.6%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,570百万円 (前年同期比 16.8%減)
1株当たり当期純利益	299円74銭
配当性向	30.0%(予定)

(注) 業績予想につきましては、2023年10月30日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

決算ポイント

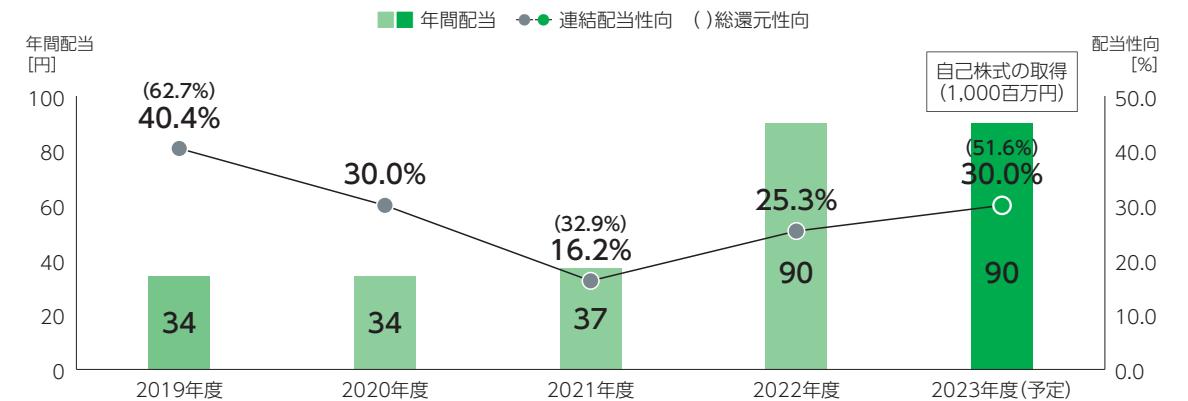
- 当第2四半期累計期間としては、売上高・各段階利益ともに過去最高
- 製造業全般において、先行手配の反動による在庫調整局面が続き、厳しい事業環境であるが、中国のインフラ関連需要を取り込めたことや、昨年度までの受注残が売上を押し上げ
- 政策保有株式の見直しを積極的に進めた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億円(前年同期比21.7%増)

部門別の概況

電機部門 売上高 188億7百万円 売上高構成比 21.2%	電機部門では、太陽光関連業界向けの電機品の販売が増加いたしました。半導体関連業界向け及びFA業界向けの電機品、太陽光関連業界向けの制御機器の販売が減少いたしました。
電子部門 売上高 631億3百万円 売上高構成比 71.0%	電子部門では、FA業界向け、精密機器業界向け及び自動車関連搭載向けの子部品、事務用機器業界向けのコネクタの販売が増加いたしました。生活家電関連業界向け及びアミューズメント業界向けの電子部品、半導体関連業界向け及びFA業界向けのコネクタ及び電子機器の販売が減少いたしました。
機械部門 売上高 69億57百万円 売上高構成比 7.8%	機械部門では、自動車業界向けの設備機器、半導体関連業界向けの搬送装置の販売が増加いたしました。

株主還元(2023年10月30日発表より)

- 持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮したうえで、安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行う
- 業績連動利益配分の指標として連結配当性向25~35%を目標とする
- 株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて機動的に自己株式の取得を実施

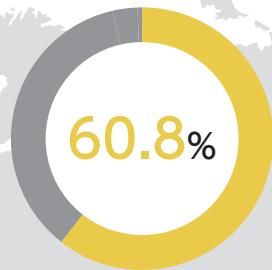


サンワグローバルネットワーク / 地域別売上高

日本

売上高
605億77百万円
 前年同期比6.8%減 ▽

営業利益
20億87百万円



精密機器業界向け及び自動車関連搭載向けの電子部品、自動車業界向けの設備機器、半導体関連業界向けの搬送装置の販売が増加いたしました。半導体関連業界向けの電機品及びコネクタ、FA業界向けの電機品、電子部品、コネクタ及び電子機器、太陽光関連業界向けの制御機器の販売が減少いたしました。

日本(国内)

30 拠点

<国内関連会社>
 サンワトリニティ株式会社
 サンワロジスティック株式会社

欧米

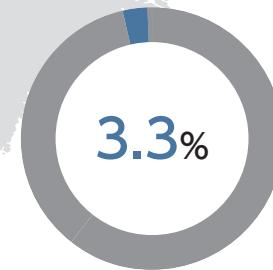
6 拠点

- ・フランクフルト
- ・リュブリャナ
- ・シカゴ
- ・サウスカロライナ
- ・ロサンゼルス
- ・ケレタロ

欧米

売上高
33億41百万円
 前年同期比0.8%増 ▲

営業利益
1億33百万円

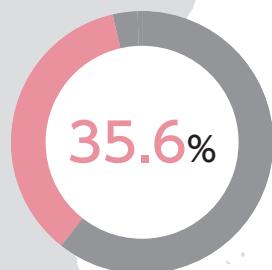


欧米では、FA業界向け及び自動車関連搭載向けの電子部品の販売が増加いたしました。アミューズメント業界向けの電子部品、自動車業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。

アジア

売上高
341億36百万円
 前年同期比19.8%増 ▲

営業利益
13億5百万円



アジア地域では、太陽光関連業界向けの電機品、FA業界向けの電子部品、事務用機器業界向けのコネクタの販売が増加いたしました。生活家電関連業界向けの電子部品、半導体関連業界向けの電子機器の販売が減少いたしました。

アジア

27 拠点

- ・上海・上海メカトロセンター
- ・天津
- ・蘇州
- ・常州
- ・成都
- ・武漢
- ・杭州
- ・広州
- ・廈門
- ・深圳
- ・香港
- ・香港物流センター
- ・台北
- ・台中
- ・台南
- ・ハノイ
- ・ホーチミン
- ・マニラ
- ・バンコク
- ・ベンガルール
- ・ペナン
- ・クアラルンプール
- ・シンガポール
- ・ジャカルタ
- ・瀋陽
- ・大連
- ・青島

各拠点の住所と連絡先は当社ホームページ「拠点」をご覧ください。



<https://www.sunwa.co.jp/about/company/index.html>

サンワテクノス 拠点 検索

(注1) 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
 (注2) 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高で表示しております。

その他

売上高
2億73百万円
 前年同期比18.5%減 ▽

営業利益
△19百万円



※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

中期経営計画

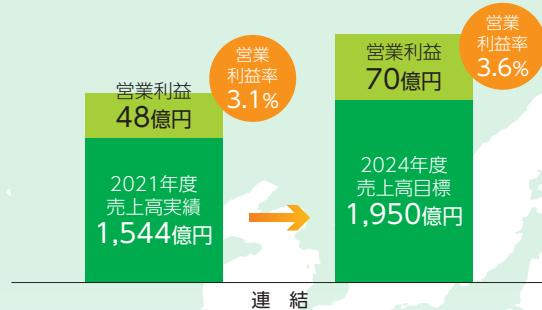
第11次
中期経営計画
(2022年度～2024年度)



企業価値の向上
2024年度 営業利益70億円達成
PBR(株価純資産倍率)1.0倍超の早期実現を目指す
最重要経営指標を「売上高」から「営業利益」とする

経営目標(連結)

連結	営業利益	営業利益率	売上高
2024年度目標	70億円	3.6%	1,950億円
2021年度実績	48億円	3.1%	1,544億円



2023年度 方針

グローバルサプライチェーンのプロフェッショナルとして
“つながり”と“信頼”でものづくりの未来を支える

- challenge 01 **イノベーションが求められる成長分野への注力**
 - セグメント戦略の部店へ展開による収益力の強化
 - 強みを活かした新規ビジネス創出と成長分野への投資
 - PR・IR・SR活動による企業ブランド力の向上
- challenge 02 **より高付加価値な製品と新たなソリューションの提供**
 - 技術戦略の策定による注力分野の特定とリソースの確保
 - SDX(サンワDX)の策定と推進
 - グローバルサプライチェーン強靱化のためのソリューション提供
- challenge 03 **サステナビリティ経営による持続可能な社会の実現に貢献**
 - SDA推進によるCO₂排出量削減への貢献度の可視化
 - 多様な人材育成と活躍推進のための人的資本投資の実施
 - 社員エンゲージメント施策の立案、実施、効果測定

進捗状況

challenge 01 **顧客セグメント別 売上総利益成長率の見込み**

顧客セグメント	'21→'24目標成長率 (3年間の年平均成長率)	'21→'23年度 利益成長率/年 2年間の年平均成長率の見込み
半導体製造装置	15%以上	6.4%
ロボットマウンター	10%以上	▲19.7%
工作機械	10%以上	▲0.7%
FA装置	10%以上	14.0%
車載	10%以上	3.7%
設備	10%以上	▲6.1%

- challenge 02 **株式会社エムテックとの業務提携を合意**
 - サンワテクノスインド2023年9月1日に業務開始
- challenge 03 **エネルギー管理システム(EMS)に特化した拡販をプロジェクト化し始動**
 - カーボンニュートラルに貢献できる製品の拡販
 - エネルギー(創エネ・蓄エネ・省エネ)に関わる商談への推進

トピックス

Topic 1

インドに初の現地法人設立

当社は、インド共和国(ベンガルール市)初となる現地法人を設立し、2023年9月1日に業務を開始しました。これにより、当社グループとしてアジア・インド地域での更なる事業拡大を図り、主要仕入先様の現地代理店活動はもちろん、インド地域の顧客密着営業活動の展開、グローバルSCMソリューションの取り組みを強化します。また、将来の輸出ビジネスの礎となるインドサプライヤーの開拓を目指してまいります。

人員の順次増員、現地スタッフマネージャーの育成など人的投資にも力を入れ、数年内には複数拠点の開設を目指します。



インド現地法人開所式より

Topic 2

エムテックとの業務提携締結(2023年10月発表)

当社は2023年10月30日に株式会社エムテック(福岡県北九州市)と業務提携契約を締結しました。エムテックの技術開発力と当社のマーケティング力とで相乗効果を創出し、顧客ニーズにマッチした技術ソリューションの提供、相互の企業価値の向上を目指します。

産業機械分野における技術ソリューションにおける協力推進

両社協業により、ロボットソリューションパッケージ『3D Connect シリーズ』を開発し、その第一弾としてARマーカーを利用したロボットソリューションパッケージ『AR^2 System <エアー・ル・ツー・システム>』を発売します。

サンワテクノス株式会社
マーケティング・ソリューション営業
商品販売・その他関連業務

×

Multi-Technology 株式会社
エムテック
商品開発・ソリューション開発
技術的アドバイス・その他関連業務

ロボットソリューションパッケージ『3D Connect シリーズ』
第一弾『AR^2 System』発売に関するお知らせ



